

2016 年度日本語教育学会研究集会 第 1 回 <九州・沖縄地区（佐賀）>

【研究発表・実践報告・ラウンドテーブル・講演・ワークショップ】

日時：2016 年 4 月 23 日（土）13:00～17:10（受付開始 12:30）

2016 年 4 月 24 日（日）10:00～16:45（受付開始 9:30）

会場：佐賀大学 本庄キャンパス 教養教育 1 号館（〒840-8502 佐賀市本庄町 1）

※正門から入って約 200m 左手の茶色の建物です。キャンパスマップは最終頁をご覧ください。

交通：<JR 佐賀駅から>バスで約 15 分、「佐賀大学前」下車。時刻表は下記アクセス URL 参照。

佐賀駅バスセンター 4 番乗り場【4 番】【11 番】【12 番】【63 番】

<佐賀空港から>タクシーで約 20 分

<自動車>国道 208 号線南部バイパスよりお入りください。

アクセス <http://www.saga-u.ac.jp/access/index.html>

参加費（予稿集代含む）：一般 1,500 円 日本語教育学会会員 1,000 円

※参加費は 2 日間通じてのものです。

問合せ（担当地区委員）：春口淳一（大阪産業大学）

E-mail: haruguchi[at]nagasaki-gaigo.ac.jp ※[at]を@に置き換えてください。

主催：公益社団法人 日本語教育学会

共催：国立大学法人 佐賀大学

協力：九州日本語教育連絡協議会

第 1 日目：4 月 23 日（土） 受付開始 12:30

13:00 開会 教養教育 1 号館（2 階）125 教室 司会：春口淳一（大阪産業大学）

13:15～15:05 口頭発表（研究発表・実践報告）各会場

<第 1 会場> 教養教育 1 号館（2 階）123 教室 司会：吉川 達（佐賀大学）

13:15～13:45 大学における留学生の地震・津波災害に対する防災・減災に向けた日本語教育

—外所地震（1662 年日向灘地震）災害の記憶をいかに生かすか—

寺尾智史（宮崎大学）

13:55～14:25 散在地域に住む外国籍住民のための日本語支援体制の構築

—「サガン日本語支援モデル・プロジェクト」の成果と課題—

有瀬尚子（佐賀大学）・貞松明子（同）・早瀬郁子（同）

14:35～15:05 九州・沖縄の自治体の外国人に対する言語サービス

—自治体のウェブサイトを中心に—

布尾勝一郎（佐賀大学）

<第2会場> 教養教育1号館(2階)124教室 司会:丹羽順子(佐賀大学)

- 13:15~13:45 日本語学習者の移動の到着点を表す「に」の習得に関する研究
—中上級レベルの中国語話者を対象とした翻訳調査の結果から—
岡田美穂(九州共立大学)
- 13:55~14:25 日本語の新聞の論説記事におけるメタディスコース研究
—HedgesとBoostersに焦点を当てて—
金沢じゅん(東京大学大学院生)
- 14:35~15:05 中国人と韓国人による多義的な接続助詞カラの習得
斉藤信浩(九州大学)

<第3会場> 教養教育1号館(2階)125教室 司会:山元淑乃(琉球大学)

- 13:15~13:45 日本語上級学習者によるクリエイティブ・ライティングクラスの実践報告
—リレー小説導入の試み—
花城可武(長崎外国語大学)
- 13:55~14:25 中級学習者を対象とした作文授業の課題
—どうして誤用がくり返されるのか—
和田礼子(鹿児島大学)
- 14:35~15:05 日本語教師養成課程の中で受講生はどのように変容するのか
—三年間の歩みを追う—
横溝紳一郎(西南女学院大学)

15:05~15:30 休憩

15:30~17:00 講演 大講義室

司会:春口淳一(大阪産業大学)

「変わりゆく世界, 変わりゆく言語教育」

講師:青木 直子氏(大阪大学)

17:00 諸連絡

17:10 閉会 1日目終了後,引き続き懇親会があります。参加申し込みは当日です。

懇親会にはどなたでも参加できますので,ぜひご参加ください。

第2日目：4月24日（日）

受付開始 9:30

10:00～11:30 ワークショップ 教養教育1号館（2階）122教室

司会・進行：春口淳一（大阪産業大学）

「変わりゆく世界，変わりゆく言語教育」

講師：青木 直子氏（大阪大学）

11:30～11:45 休憩（11:45 ラウンドテーブル開始，12:30 ポスター発表開始）

※ラウンドテーブルとポスター発表は一部時間が重複するのでご注意ください。

11:45～16:35 ラウンドテーブル 教養教育1号館（2階）125教室

進行：吉川 達（佐賀大学）

- ・ 11:45～13:15 授業をデジタル化しよう！
カ丸美和（日本アジア国際教育センター）・武田英里子（九州大学）
- ・ 13:25～14:55 語彙教育について考えよう—教師の工夫と悩み—
石澤徹（東京外国語大学）・岩下真澄（活水女子大学）
桜木ともみ（国際基督教大学）
- ・ 15:05～16:35 留学生対象の授業に「学士力の育成」をどう盛り込むか
—「知識学習型」と「協働プロジェクト型」の実践を例に—
小山悟（九州大学）・中島祥子（鹿児島大学）

12:30～14:00 ポスター発表（研究発表・実践報告）

教養教育1号館（1階）学生ホール

進行：山元淑乃（琉球大学）

- ・ 日本人らしい発音習得のための独習支援アプリに関する研究—『ゆにおん』の開発—
大庭理恵子（熊本県立大学）・馬場良二（同）
- ・ 落語を使った日本語授業の失敗と手ごたえ—「寿限無」でできること—
川崎加奈子（長崎外国語大学）
- ・ 熊本市における在住外国人の方言使用の実態—方言聞き取り教材作成に向けて—
吉里さち子（熊本大学）・和田礼子（鹿児島大学）
- ・ 語りから捉える学習者オートノミー—企業で働くある中国人のライフストーリーから—
中井好男（同志社大学）

16:35～16:45 諸連絡・閉会 教養教育1号館（2階）125教室

キャンパスマップ Campus Map

